

植生学会2023年度フィールド研修・植生学トレーニングスクールの開催

加藤 ゆき恵*

2023年8月26日・27日に、植生学会（会長：上條隆志筑波大学教授）の2023年度フィールド研修と植生学トレーニングスクールを釧路地域で開催しました。

8月26日はフィールド研修で、厚岸町から浜中町にかけてバスで巡りました。まずは厚岸町愛冠岬周辺でエゾシカ食害が顕著な森林と草原を観察。北海道大学の愛冠自然史博物館も短時間ながら見学しました。その後、北太平洋シーサイドラインで海岸風衝地植生を眺めながら浜中町へ移動し、琵琶瀬展望台から霧多布湿原を遠望、数ヶ所の木道から異なる湿原植生景観を観察しました。釧路に戻った後は遠回りをして釧路湿原道路を走行し、湿原を間近に体感し

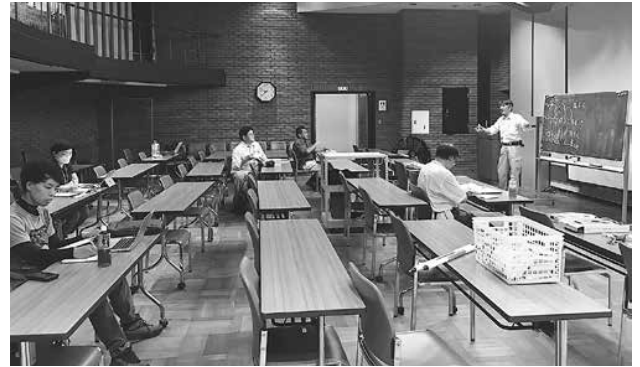


フィールド研修のようす（霧多布湿原）

てもらいました。

2日目の8月27日は博物館講堂と春採公園で植生学トレーニングスクールを開催しました。春採公園で植生調査実習を行ったあと博物館へ戻り、島野光司大阪産業大学教授の講義で植生調査データのR言語を使った解析法を学びました。

当館で全国規模の学会の大会を受け入れるのは2018年のすげの会第29回全国大会以来でした。2020年以降、コロナ禍で学会のオンライン開催が続いていたこともあり、人数は多くなかったものの、全国から釧路へ集まって顔を合わせられたことが一番の喜びでした。



植生学トレーニングスクール（博物館講堂）

釧路の植物研究者、滝田謙讓氏につきまして

釧路市立博物館

『北海道植物図譜』、『東北道の植物』の著者である釧路の植物研究者、滝田謙讓氏（書籍の著者名は滝田謙讓）が2020年（令和2年）10月24日にご逝去されました。

滝田氏は1930年（昭和5年）山形県生まれ、中学校の数学教諭を勤める傍ら植物標本の採集を始め、その

成果をまとめた植物図鑑『釧路植物誌』

（全2巻）を1980年（昭和55年）私家本として発行されました。その後1987年（昭和62年）に『東北道の植物』を、



2001年（平成13年）に『北海道植物図譜』を自費で出版されました。これらの図鑑は出版から20年以上経った現在も、北海道内の植物愛好家必携の書として活用されています。長年にわたる植物研究により、2002年（平成14年度）に釧路市文化賞を受賞されています。

当館には『釧路植物誌』のための証拠標本として採集された約1500点の維管束植物標本と、1200点近い蘚苔類（コケ植物）標本が納められています。維管束植物は1983年（昭和58年）発行の釧路市立郷土博物館収蔵資料目録(Ⅲ)にまとめられているほか、維管束植物・蘚苔類ともに国立科学博物館の「サイエンスミュージアムネット」でも標本情報が公開されています。また、北海道大学植物園にも多くの維管束植物及びミズゴケ属（蘚類）の標本が納められています。

博物館では滝田氏の植物研究に対する敬意とともに、哀悼の意を表します。なお、ご家族の意向により、ご厚意はお控えいただきますようお願い申し上げます。